

学校と家庭の取組による表現力の向上

【行田市教育委員会】

1 本校の現状（教育に関する3つの達成目標・学習状況調査等の結果分析から）

- 国語
- ・発達段階に合わせた読み取りの力が弱い。（順序・段落・要旨）
 - ・目的に合わせた文を書く力が弱い。
 - ・段落のつながりを意識した文を書くことが苦手。
- 算数
- ・自力解決はできるが、友だちのやり方を柔軟に理解したり、関連付けて理解したりする力が弱い。
 - ・計算力の正確さは身に付けてきたが、特に数量関係、図形等の正確な知識が身に付いていない。

2 到達目標

- 国語
- ・教材の読み取りがしっかりできる。
 - ・目的に合わせた文を書くことができる。
 - ・日記や作文の中で習った漢字を使うことができる。
- 算数
- ・既習事項を活かし、新しい考えをつくり出していくことができる。
 - ・自らの考えを筋道立てて論理的に説明することができる。
 - ・基本的な知識を定着させる。



3 到達目標に迫るための取組

- 1 学習規律の徹底
- 2 学習の仕方の徹底
- 3 表現力を育てるための工夫
- 4 基礎・基本の定着
- 5 習熟度別学習の充実
- 6 系統性を意識した学習の推進
- 7 家庭学習の習慣化



4 めざす学力像

- 1 学習規律を守り、意欲的に学習できる
- 2 自分の考えをもとに、表現できる
- 3 基礎的な知識・技能が身に付いている

5 授業における取組

- ①学習の仕方の徹底を図るため、自力解決時の適切な支援、自他の考えが比較検討できるような指導、ノートの表現の仕方の指導をきめ細かに行う。
- ②積極的なコミュニケーション能力の育成を図るため、自分の考えに自信を持って発表できるよう、段階的な発表の場を設定する。
- ③基礎的・基本的な学習内容を徹底的に繰り返し学習させる。
- ④1つの学年を2つ～3つに分けた少人数指導・習熟度別指導を実施し、個に応じた指導を充実させる。
- ⑤校内漢字・計算テストを実施し、基礎・基本の定着の確認を行う。
- ⑥音読を重視する。（一斉音読や詩の暗唱を推進する。）

6 家庭における取組

- ①「家庭学習のてびき」の活用
- ②音読カードの活用による音読の充実
- ③日記指導により文章構成を整えて書くことの推進
- ④「PTA 子育て憲章」の啓発

7 研究主題

表現力の育成をめざした指導の工夫
—国語科の学習を通して—

8 授業を支える取組

①「家庭学習のてびき」の配布（低学年用・中学年用・高学年用）



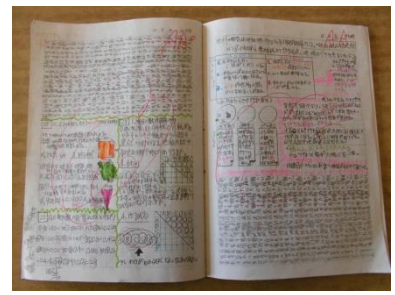
〈家庭学習のてびき〉

②音読カードの活用（保護者の協力を得ながら）



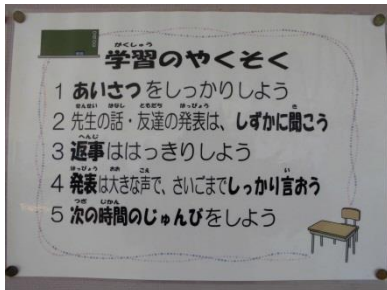
〈児童の音読カード〉

③ぐんぐんノート（家庭学習ノート）の充実



〈児童のぐんぐんノート〉

④授業規律の徹底
→学力向上のための基盤



〈学習のやくそく〉

⑤ぐんぐんタイム（業前の活動）の充実
百マス作文の取組（週1回）



〈百マス作文の掲示〉

⑥付箋を活用した漢字スキル
→正確に書く練習



〈付箋を使用した漢字スキル〉

⑦ひとり1授業の校内研修（国語）を通した指導の工夫



〈国語の授業研究会〉

⑧授業における既習事項の掲示→思考を助ける支援



〈既習事項の掲示〉

⑨単元を貫く言語活動を意識した並行読書をさせる工夫



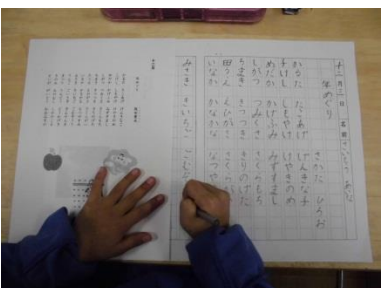
〈教室の並行読書コーナー〉

⑩少人数指導・習熟度別学習（算数・3年生以上）



〈習熟度別学習の個別指導〉

⑪文章の視写を通した書く力の育成



〈視写〉

⑫言語活動の充実のための音読群読発表会（年11回）



〈音読群読発表会〉

